

「わたしの音楽 みんなで音楽」

～音楽を形づくっている要素を感受し 自ら広げる音楽の世界～

主題設定の理由

新学習指導要領では、一人ひとりの児童生徒がより主体的に音楽を学ぶことを目指している。子どもたちがその音楽のよさを感じ取り、思考、判断して自分たちのイメージにあった表現を導き出そうとするなど、音楽の授業が「思考・判断・表現」する場となることが、一層求められている。そして、「私が感じた音楽」「私が工夫した音楽」「私が表現した音楽」「私がつくった音楽」など、音楽を通した自己実現として表れたり、「私がいいなと思う音楽」「私が好きな音楽」など、一人ひとりが自分の価値観を持って音楽を愛好し、自分の言葉でその音楽のよさを説明したりすることをできるようにすることが、音楽の学力として求められている。

このように子どもたちが音楽を価値あるものとして受け入れたり、目の前の音楽を形づくっている要素について、感じ取ったイメージから工夫を考えたり、お互いのイメージを共有しながら、みんなで音楽を試行錯誤したりする活動は、とても重要であると考えられる。

子どもたち一人ひとりに「その子の音楽」が根付き、音楽を通した自己実現として表れることを願い、本主題を設定した。

I 研究の内容

1 研究の具体的内容

(1) 教材研究

- ・音楽科としておさえるべき基礎・基本の分析
- ・教材選択の視点の明確化
(この教材で、子どもたちにどんな力をつけさせたいか)
- ・講習会 (創作活動 教材分析・合唱指導)

(2) 授業研究

- ・子どもたちがそれぞれの思いを実現し、音楽的満足感を味わえる授業の工夫
- ・音楽を形づくっている諸要素をどのように知覚・感受させ、よりよい表現につなげていくか
- ・指導と評価の一体化の実践

(3) 明日の授業づくりと教師の技能向上のために

- ・平成24年度東山梨小中学校音楽発表会での合唱実践
- ・教職員音楽発表会出演(合唱)
- ・新指導案の作成について講習会

2 研究の方法

(1) 教協研究日 (10回 うち統一授業研究日 2回)

- ・勝沼中学校 山本 順美先生 (8月)
- ・日下部小学校 藤原 和美先生 (2月)

(2) 講習会・学習会

- ・高柳勉先生 「合唱指導講習会」 (8月)
- ・野中るみ子先生 「新指導案作成について」 (9月)

II 成果と課題

今年、合唱指導の講習会や新学習指導要領に合わせた指導案の作成についての学習会、そして2回の統一授業研究会を行い、研究を深めることができた。

合唱指導講習会では、講師の先生に実際に中学生を相手に指導していただく中で子どもたちの変容を目にすることができ大変参考になった。また、指導案作成の学習会では、新指導要領に即した指導案の書き方を部会員全員で確認でき大変有意義であった。

研究主題に迫るための手立てとして、自己評価・相互評価の工夫、子どもたちの活動を助けるためのポートフォリオの工夫、子どもたちが「できた」「わかった」を実感できる授業の工夫、子どもたちの関心・意欲を高め自己実現を図れるような授業づくりの工夫に取り組んできた。その中で、9年間の発達を意識すること、聴き取る力・感じ取る力を高めること、子どもたち一人一人が自分の思いや意図を伝え合うことなどを意識してきた。

2回の研究授業は、事前に部会員全員で検討会を行い、授業の流れや内容などを共通理解した上で臨むことができた。今年度は、小・中学校、各1本ずつで研究授業を実施できたので、小中連携を意識した指導について討議ができてよかった。中学生による表現の工夫や小学生の民謡の鑑賞は、ともに音楽の要素や音楽の良さに気づき、楽しむための視点となり学習が深まった。

来年度も本年度の研究テーマを踏まえて研究を進めていくわけだが、東山梨の独自性を出したり「今」に即したなど研修を設定するなどして、課題である「感受」と「表現」を常に意識しつつ、あらゆる「音楽」の場での小さな積み重ねを大切にして、自分の思いを表現できる子どもを育てていく研究を深めていきたい。

III 成果物

○ 小学校 第4学年

「日本のいろいろな地方の音楽に親しもう」

日下部小学校 藤原 和美先生

○ 中学校 第2学年

「声部の役割を生かして、表現を工夫しよう」

勝沼中学校 山本 順美先生

(部長 平塚 すみり)